（第２号様式）（用紙日本工業規格Ａ３横長型）
神奈川県教育委員会教育長　殿

提出日：令和５年４月 28 日
学校名：県立津久井浜高等学校

令和５年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、未来を切り拓くことのできる自立した学習者を育てる。そのための教育課程を編成する。 ②生徒の主体性を育むため学校行事・探究活動等を活性化させ、社会に通用する人間を育てる。	①ICT 機器・一人一台端末を生かした学習活動について実践を積み上げるとともに、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を行う。 ②行事や探究活動を通じ、自ら考え行動し、課題を解決する力を身につけさせる。	①一人一台端末を生かした学習活動の実践を積み上げられるよう２学期に校内研修会などを通じて、主体的・対話的で深い学びを目指して授業改善を行う。 ②行事に係りの生徒の役割を作り運営を通して達成感を経験させる。	①一人一台端末を用いた授業実践について、単元の中で適切に学習活動を設定することができたか。また、生徒が主体的、対話的で深い学びを実感できる授業を行うことができたか。 ②行事の中に生徒の役割が分担され、主体的に運営する場が確保されたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①基本的生活習慣の確立を図る。 ②部活動等を通し、自己肯定感を高め、自己理解・多様性の理解につなげる。 ③生徒個々の理解のため組織的な対応をし、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づいた居心地の良い学校をつくる。	①授業を大切にする態度を育成するとともに、法令を遵守する意義について、日々の指導で周知し、基本的生活習慣の確立を図る。 ②自他ともに大切にする気持ちや自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を向上させるとともに、多様性を受容する心を育てる。 ③UD の観点に基づいた授業・環境づくりを行い、すべての生徒にとって安全・安心な学習環境を整備する。また、支援を必要とする生徒のため、教育相談体制を充実させる。	①月 5 回以上の遅刻者への学年指導を継続し、生徒の時間厳守への意識を高める。また、服装指導、頭髪指導を通して、生徒の日常生活での変化に気づくきっかけ作りを行う。 ②学習活動や対話を通して自己理解を深め、想像力を働かせて、他者を思いやりながら、自他の立場を尊重してものごとを考える力を養う。 ③黒板表示の工夫や掲示物の整理を始めとした UD 化の取組を推進し、すべての生徒にとって必要な支援を行えるよう心がける。 ③課題のある生徒に関する情報共有の場を設け、SC、SSW などの専門家等の助言に基づく	①学年指導を受ける生徒数が減少させられたか。個別指導をきっかけにして生徒の基本的な生活習慣の変化に気づく件数が増加したか。 ②適性検査や総合的な探究の時間における活動を通して、自己理解につながる学びの場を提供することができたか。また、多様な生き方や考え方があることに気づく機会を設けられたか。 ③本校化の取組について、方策の具体的な意味を意識しながら環境整備を行うことができたか。 ③専門的助言に基づいた根拠の					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				根拠のある支援を充実させる。	ある支援が行えたか。					
３	進路指導・支援	①生徒一人ひとりが自己の人生設計のもと、進路を選択できるように組織的に支援する。 ②将来の進路希望実現のために努力する人間を育てる。	①生徒一人一人が、自己の適性を把握し、進路希望の実現を図れるよう、生徒の実情に合った適切な支援を行う。 ②自身の将来の展望をイメージし、それに向けて努力を重ねる生徒を育成する。	①スタディサポートや、適性検査、進路説明会等を通じて、各生徒の進路希望が活かせるような支援を行う。 ②総合的探究の時間や面接指導の中で、自分のキャリアを主体的に想像することができるような支援を行っていく。	①様々な指導で得られた情報を活かして、各生徒の進路希望を正確に把握し的確に支援できたか。 ②生徒一人ひとりのニーズに合わせた進路指導を支援できたか。					
４	地域等との協働	①豊かな人間性を育むために、地域等の教育力を活用する。 ②地域に根差し、地域に貢献できるソーシャル・レスポンシビリティの精神を涵養する。	①学校運営協議会や地域の諸組織との交流を通じて、地域を理解し、地域から信頼される学校つくりを目指す。 ②ソーシャル・レスポンシビリティの意義を再確認し、その精神を滋養するために地域のボランティアや各種活動に積極的に関与する。	①地域の方々からの要望を生徒に伝え、委員会活動、部活動などを通じて人材を活用する。 ②ボランティアや地域活動の募集案内を整理し、最新の情報を広く生徒に周知する。また、教職員への積極的な参加を促す。	①委員会活動、部活動を通じて学校外への人材活用ができたか。 ②ボランティアや地域活動の募集案内を整理し、生徒・教職員の参加数が増加したか。					
５	学校管理 学校運営	①信頼される学校づくりのため、様々な状況を外部に情報発信するとともに事故・不祥事防止に努める。 ②学校の安全な環境整備を行い、生徒の学習環境を保障する。	①本校の教育活動について、保護者や地域に向けて、より広く情報発信に取り組む。また、教員が健康で働きやすい職場づくりを進め、不祥事防止について教員の意識を高める。 ②生徒・職員の防災意識の醸成を図る。	①ホームページ等を用いて、広い地域、町内会等を意識した広報活動を実施する。 様々な研修を行い教員の意識を高める。 ②環境整備や安全・防災に関する意識向上を、日常の清掃・美化活動や防災訓練などを通じて全校に展開する。	①ホームページ等を十分に活用できたか。 教員がCMSの操作方法や活用方法について学べる効果的な研修を実施することができたか。 ②環境整備や安全・防災に関する活動を美化・防災委員の生徒とともに、全校の生徒の意識向上に結びつけることができたか。					